

令和3年度事業報告 について

社会福祉法人 宝成会

特別養護  
老人ホーム 宝塚シニアコミュニティ



## 令和3年度 事業報告書（案）

社会福祉法人 宝成会

令和3年度は、令和2年度に続き2年間に及び新型コロナウイルスの世界的な流行で、日本国内でも大変な状況となっています。我々特別養護老人ホームにおいても感染対策の強化徹底を実施参りました。ご利用者様に関しましては、ご家族様との直接面会の中止し、ガラス越しやネット環境での新たな面会のやり方での実施継続を余儀なくされました。

当施設においては、職員が2名、職員家族（子供）が数名のコロナ感染が確認できましたが、感染が拡大することなく終息いたしました。ご利用者様に関しては、幸い施設での感染者がありませんでしたが、ショートステイでのご利用者様が、入所前の抗原減検査で2名の方がコロナ陽性になりました。発熱もなく無症状でしたが、事前の抗原検査の徹底で施設内への持込を阻止できたことは大きかったと思います。現在はご利用者様、職員とも3回目のワクチンも2月に終わっており4回接種の検討も進めています。

今年度の業績は予算比102%及び昨年実績比104%の伸びで特養は95.1%とほぼ予算通りになり、特養+ショートで97.3%の稼働率となりました。訪問介護は昨年と変わりませんが、デイサービスは、コロナの影響もあり外出を控える方も多くデイサービスの稼働にも影響が出ました。ただ感染対策を確実に実行しご利用者様の大幅な減少は防げました。

継続して新型コロナウイルスの感染対策の強化等々職員ご利用者様の健康管理に注力いたします。現在は、感染者の発症はないですがまだまだ予断を許さない状況です。今後も施設一丸となって感染対策に取り組んでいく所存でございます。新たな処遇改善支援補助金が、令和4年2月から対応し、介護職の方に常勤と非常勤に分配しており給与の増加も見込まれました。地域包括ケアシステムは、国、県、市町村も注力しているため当施設も介護予防・日常生活支援総合事業の具体的なサービスの開始等地域に根ざした福祉活動を推進してきましたが、今年度は、会議等の開催もできませんでした。引き続きコミュニケーションを取っていきたいと思います。

施設運営において今後も新たな加算の取得等目指して出来るものは、順次対応追加していきます。又稼働率も今後より一層意識して将来を見据え安定した運営の基盤作りが重要課題と考えます。

職員につきましては、離職者が減りましたが、接遇や言葉使い等においてまだまだ出来ていない状況ですので、職員のキャリア形成を明確にし今後も魅力ある職場作りに改善注力していき、職員の介護技術、介護知識の向上を目指しより質の高い

職員の育成を目指していきます。

現場では、全体的な介助時間の見直しや組織の再構築も行い、いままでのやり方を見直し、「この状態が当たり前になっていないか？」職員一丸となって変革に取り組んできましたが、来年度も引き続き継続します。

人材に関しては、ある程度落ち着いていますが、流動的な退職者も出てきますので、人材紹介会社や広告媒体等の活用はもとより、地元地域の人材確保のため自治会連合会へ協力をいただき地域とともに施設運営ができるよう推進していきたいです。

配食サービスは、介護保険対象外となりましたが、法人独自の配食サービスをスタートさせ地域住民の食事の安定化に貢献しております。また更なる協力や西谷地域に於いては、地域包括ケアを念頭に置き、地域包括支援センターを中心として、高齢者が住み慣れた地域で本人や家族が安心して生活を続ける為に地域福祉の拠点施設として今後共、更なる向上を目指していきたいと考えています。

#### 課題

##### 1. 社会福祉法人としての社会貢献

- ・地域高齢化福祉への取組として西谷地域包括支援センターを基盤に活動を拡大
- ・配食サービスの運営
- ・地域会議への積極的参加

##### 2. 利用者様の主体性・選択性の充実

- ・ケアカンファレンスの充実
- ・総合的な自立ケアの取組

##### 3. 施設稼働率の安定と経費等支出の削減で効率の良い施設運営

- ・加算の取得の取組強化
- ・支出見直しによる経費削減
- ・全職員が意識した節約の取組実施

##### 4. 職員のスキルアップへの取組

- ・今年度は、基本に帰り 施設理念である
  - ◇「いきがい」のある生活を大切にします。
  - ◇地域との「きずな」を大切にします。
  - ◇「学び考える」ことを大切にします。

を基本に頑張ってまいります。又今までのやり方「この状態が当たり前になっていないか」を各自が意識し「できない理由」でなく「どうすればできるのか」を考える力を備える。

- ・計画的な研修体制の確立（医療・接遇・認知症・各種専門分野等）
- ・キャリアパスの確立による人事考課の強化と職員レベルの技術・知識の向上

## 令和3年度入所者の状況報告

(令和4年3月31日現在)

### 1、定員、実人数

・特養定員	90名	実人数	89名
・短期入所定員	10名	実人数	14名

### 2、男女比と年齢構の状況

	～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳～	合計	平均年齢
男		1人	6人	11人	6人	1人	25人	84.3歳
女			8人	27人	28人	1人	64人	87.9歳
計		1人	14人	38人	34人	2人	89人	86.9歳

### 3、要介護度別の状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
人数	3人	7人	31人	32人	16人	89人	3.57

### 4、入所者の日常生活の状況

#### ①障害老人の日常生活自立度

	正常	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
人数				19人	19人	10人	26人	1人	14人	89人

#### ②認知症老人の生活自立度

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	V	合計
人数		4人	2人	15人	36人	12人	19人	1人	89人

### 5、入所、入退院、死亡・退所の記録

#### ①新規入所の記録

#### ②入退院の記録

#### ③死亡・退所の記録

#### ④特養・短期入所 稼働率報告



令和3年度 入退院の記録

(別紙2)

(令和4年3月31日)

氏名	入院	退院	入院	退院	入院	退院
Y	4月19日	5月20日	6月10日	6月29日	7月22日	9月11日退所
F	4月24日	5月12日	7月12日	7月21日	8月30日	9月13日
	12月18日	1月26日退所				
W	4月26日	5月10日	7月31日	8月14日	9月10日	9月27日
	3月31日					
W	5月2日	5月24日	6月14日	7月15日	7月30日	9月18日退所
T	5月13日	5月22日				
H	5月9日	6月7日退所				
M	5月26日	6月11日	10月11日	10月28日	10月31日	11月15日
	2月9日	2月22日				
F	5月28日	6月9日	7月2日	7月12日	12月3日	12月13日
K	5月29日	6月10日				
B	5月29日	6月14日				
T	6月7日	6月25日				
K	6月18日	7月7日	8月22日	8月30日	1月2日	1月16日退所
U	7月30日	8月16日退所				
H	7月31日	8月12日	1月29日	2月15日退所		
K	8月6日	8月25日	2月22日	3月7日退所		
F	8月11日	9月8日	2月7日	2月16日退所		
T	8月14日	10月4日				
M	8月20日	9月1日				
M	9月10日	10月20日	1月2日	1月21日	3月9日	3月19日退所
F	9月11日	9月29日	12月7日	12月20日	2月22日	3月20日退所
I	9月17日	11月8日	2月15日	2月26日退所		
N	9月15日	9月29日退所				
F	10月14日	12月13日				
H	10月15日	10月27日	3月24日			
M	10月22日	11月1日	11月24日	12月1日		
I	10月22日	11月18日				
O	10月29日	11月15日	12月1日	12月22日退所		
T	11月7日	11月18日	1月7日	1月20日		
K	12月17日	12月19日退所				
S	1月28日	2月8日				
F	2月17日	3月17日				
I	3月9日	3月22日				
S	3月12日					
I	3月25日					
Y	3月25日					

令和3年度 新規入所の記録

(別紙1)

	入所	氏名	入所時年齢
1	4月15日	S	95歳
2	4月21日	F	85歳
3	4月22日	W	77歳
4	4月28日	M	92歳
5	5月1日	O	90歳
6	6月19日	H	85歳
7	6月25日	M	79歳
8	8月21日	T	97歳
9	9月19日	F	73歳
10	9月27日	O	76歳
11	10月15日	K	87歳
12	10月26日	F	92歳
13	12月30日	F	92歳
14	1月25日	N	88歳
15	1月28日	M	89歳
16	2月17日	Y	89歳
17	2月25日	K	90歳
18	2月28日	I	73歳
19	3月1日	F	86歳
20	3月14日	Y	83歳
21	3月15日	A	93歳
22	3月28日	T	88歳
23	3月29日	M	92歳
24	3月30日	N	88歳
25	3月31日	T	87歳



令和3年度 特別養護老人ホーム 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
受入れ可能数	2,700	2,790	2,700	2,790	2,790	2,700	2,790	2,700	2,790	2,790	2,520	2,790	32,850
在所日数	2,566	2,688	2,571	2,735	2,611	2,527	2,666	2,602	2,670	2,641	2,381	2,582	31,240
稼働率 (%)	95.0%	96.3%	95.2%	98.0%	93.6%	93.6%	95.6%	96.4%	95.7%	94.7%	94.5%	92.5%	95.1%

令和3年度 短期入所生活介護 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
受入れ可能数	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310	3,650
在所日数	303	348	362	358	358	359	338	347	374	362	357	408	4,274
稼働率 (%)	101.0%	112.3%	120.7%	115.5%	115.5%	119.7%	109.0%	115.7%	120.6%	116.8%	127.5%	131.6%	117.1%

令和3年度 特養・短期入合計 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
受入れ可能数	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	2,800	3,100	36,600
在所日数	2,869	3,036	2,933	3,093	2,969	2,886	3,004	2,949	3,044	3,003	2,738	2,990	35,514
稼働率 (%)	95.6%	97.9%	97.8%	99.8%	95.8%	96.2%	96.9%	98.3%	98.2%	96.9%	97.8%	96.5%	97.0%

令和3年度 特養 稼働実績報告書

	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	上半期合計
稼働率	2566/2700(95.0%)	2688/2790(96.3%)	2571/2700(95.2%)	2735/2790(98.0%)	2611/2790(93.6%)	2527/2700(93.6%)	15698/16470(95.3%)
入院割合	36/2700(1.4%)	102/2790(3.7%)	110/2700(4.1%)	55/2790(2.0%)	175/2790(6.3%)	157/2700(5.8%)	635/16470(3.9%)
空床割合	98/2700(3.6%)	0/2790(0.0%)	19/2700(0.7%)	0/2790(0.0%)	4/2790(0.1%)	16/2700(0.6%)	137/16470(0.8%)
入所者数	4名(西谷0名)	1名(西谷0名)	2名(西谷0名)	0名(西谷0名)	1名(西谷1名)	2名(西谷0名)	10名(西谷1名)
退所者数	0名(西谷0名)	0名(西谷0名)	2名(西谷0名)	0名(西谷0名)	1名(西谷1名)	3名(西谷0名)	6名(西谷1名)

	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	下半期合計
稼働率	2666/2790(95.6%)	2602/2700(96.4%)	2670/2790(95.7%)	2641/2790(94.7%)	2381/2520(94.5%)	2582/2790(92.5%)	15542/16380(94.9%)
入院割合	116/2790(4.2%)	98/2700(3.6%)	100/2790(3.6%)	109/2790(3.9%)	75/2520(3.0%)	103/2790(3.7%)	601/16380(3.7%)
空床割合	8/2790(0.2%)	0/2700(0.0%)	20/2790(0.7%)	40/2790(1.4%)	64/2520(2.5%)	105/2790(3.8%)	237/16380(1.4%)
入所者数	2名(西谷1名)	0名(西谷0名)	1名(西谷0名)	2名(西谷1名)	3名(西谷1名)	7名(西谷2名)	15名(西谷5名)
退所者数	1名(西谷1名)	0名(西谷0名)	2名(西谷0名)	2名(西谷1名)	6名(西谷3名)	4名(西谷1名)	15名(西谷6名)

令和2年度合計	31240/32850(95.1%)
入院割合	1236/32850(3.8%)
空床割合	374/32850(1.1%)
入所者数	25名(6名西谷)
退所者数	21名(7名西谷)

令和2年度合計	31064/32850(94.6%)
令和元年度合計	31617/32940(96.0%)
平成30年度合計	31392/32850(95.6%)
平成29年度合計	30697/32850(93.4%)
令和2年度合計	1332/32850(4.1%)
令和元年度合計	1103/32940(3.3%)
平成30年度合計	1283/32850(3.9%)
平成29年度合計	1906/32850(5.8%)
令和2年度合計	454/32850(1.3%)
令和元年度合計	220/32940(0.7%)
平成30年度合計	175/32850(0.5%)
平成29年度合計	247/32850(0.8%)
令和2年度合計	28名(5名西谷)
令和元年度合計	19名(5名西谷)
平成30年度合計	19名(8名西谷)
平成29年度合計	22名(6名西谷)
令和2年度合計	32名(7名西谷)
令和元年度合計	20名(4名西谷)
平成30年度合計	18名(7名西谷)
平成29年度合計	21名(5名西谷)
H28～R1年度平均	94.90%
	4.28%
	0.83%
	22.0名
	22.75名

## 令和3年度 ケア会議実施報告（案）

### 1 ケア会議組織図

#### 1 階各フロア会議

リーダー会議 / 看・介護合同会議

#### 2 階各フロア会議

### 2 各会議実施内容

#### ① フロア会議

1 階西フロア コロナ禍の為、自粛中により開催せず。

1 階東フロア コロナ禍の為、自粛中により開催せず。

2 階西フロア コロナ禍の為、自粛中により開催せず。

2 階東フロア コロナ禍の為、自粛中により開催せず。

\*フロア会議ではフロアの業務改善、利用者への対応、発生した事故等について協議行う。

#### ② リーダー会議

\*各部署・各委員会からの連絡事項、各フロア会議の報告、業務改善等についての協議を行い、決定事項を各フロアへ報告する。

\*実施日 6月8日、8月14日、11月24日、12月22日、1月24日

#### ③ 看・介護合同会議

\*看護師、介護士が業務について協力体制をとる為に協議を行う。

\*利用者様の検討会議。

\*毎月第1金曜日、実施。

## 令和3年度 宝塚市介護サービス相談員 対応実績報告（案）

### 1) 令和3年度 対応相談員

- ・横山相談員
- ・小東相談員

### 2) 訪問日

○令和3年1月25日14時00～

※新型コロナウイルス感染対応に伴いオンラインでの訪問対応となる。

### 3その他

令和4年度についても当面はオンラインでの対応となる見通し。

## 令和3年度 部門間調整会議実施報告（案）

### 1. 出席部門

施設長、総務課、特養（介護・看護・給食）、短期入所、  
通所介護、訪問介護、居宅介護支援、地域包括支援

### 2. 会議日程、議事内容

- ・令和3年4月2日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
令和3年度予算、給与規定一部変更、特定処遇改善特別手当分配率変更、  
職員新人研修
- ・令和3年5月7日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
御利用者様マスク着用の徹底、人事異動、気づきの力でケアサービスの向上、  
困難ケース受け入れ対応
- ・令和3年6月4日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
感染対策、職員コロナワクチン接種、業務の効率化、在宅御利用者様コロナ  
ワクチン接種済リストの情報共有
- ・令和3年7月2日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
御利用者様コロナワクチン接種状況、接遇改善、処遇改善手当、事例検討会  
開催にて職員のスキルアップ
- ・令和3年8月6日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
書類作成、人事異動、報・連・相の徹底、部下への指導方法、職員健康診断
- ・令和3年9月3日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
職員採用状況、感染対策の徹底、換気の徹底、報・連・相の徹底、  
センサーマット管理方法

- ・令和3年10月8日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
病院受診時の対応、謝罪時の対応、事故事例報告、不織布マスクの徹底
  
- ・令和3年11月5日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
電話対応、残業削減、業務効率化推進、人事異動、職員の身だしなみ、  
苦情対応
  
- ・令和3年12月3日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
職員同士での気づき・指導、職員のスキルアップ、施設ホームページを活用  
したPR活動、契約時の同意事項
  
- ・令和4年1月7日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
令和4年度事業計画（案）、予算（案）提出、人事異動に伴う引継ぎ期間、定  
時勤務の目標、御利用者様のマスク着用徹底、部下への指導、ボイラー工事、  
職員コロナワクチン3回目接種
  
- ・令和4年2月4日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
職員家族等からのコロナウイルス感染・濃厚接触者事例増、職員喫煙時の感  
染対策、コロナ感染に備えたフロア・部署間の業務体制、エレベーター工事
  
- ・令和4年3月4日（金）  
各部門からの報告（業務の現状と今後の見直し）  
書類管理、処遇改善一時金、特養独自のレクリエーション実施推進、  
人員紹介制度、ボイラー工事

以上

## 令和3年度 カンファレンス・モニタリング実施事業報告（案）

介護支援専門員 橋本 圭史

### ① カンファレンス 実施件数 208 件

月別数	実施日
4月 23件	4/1. 2. 4. 8. 11. 13. 14. 15. 21. 22. 28
5月 15件	5/1. 3. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 13. 14. 16. 17
6月 23件	6/1. 3. 5. 7. 9. 10. 12. 13. 14. 16. 19. 20. 21. 25
7月 11件	7/4. 7. 10. 11. 15. 17. 21. 22. 23
8月 20件	8/2. 4. 5. 7. 8. 9. 10. 12. 14. 15. 17. 18. 19. 20. 21
9月 9件	9/4. 5. 9. 13. 19. 20. 21. 29
10月 22件	10/3. 14. 15. 16. 18. 19. 21. 26
11月 13件	11/5. 9. 10. 11. 12. 13. 15. 16. 17. 20. 21
12月 22件	12/6. 7. 10. 11. 13. 14. 15. 19. 20. 22. 26. 27. 29. 30
1月 11件	1/6. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 16. 17. 19. 25. 28
2月 22件	2/2. 5. 6. 7. 8. 10. 11. 12. 14. 16. 19. 20. 24. 25. 28
3月 17件	3/3. 4. 5. 10. 12. 15. 18. 19. 28. 29. 30. 31

### ② モニタリング 実施件数 199 件

月別数
4月 16件
5月 21件
6月 10件
7月 19件
8月 13件
9月 23件
10月 11件
11月 20件
12月 9件
1月 19件
2月 13件
3月 25件

③ 介護保険被保険証更新申請 実施件数 61 件

4月	5件
5月	2件
6月	5件
7月	3件
8月	8件
9月	9件
10月	1件
11月	4件
12月	5件
1月	6件
2月	7件
3月	6件

④ 介護保険被保険者証区分変更 実施件数 1 件

4月	0件
5月	0件
6月	0件
7月	0件
8月	0件
9月	1件
10月	0件
11月	0件
12月	0件
1月	0件
2月	0件
3月	0件



## 令和3年度事業報告・中長期計画報告（案）

特養主任 山下威則

### 〈事業報告〉

#### 課題

##### 1、利用者様の生きがい作りの支援

- ・2ヶ月に1回各フロアでおやつレクを実施。
- ・感染対策に伴い、外出等が実施出来ない為、季節感を感じて頂ける様に花見の季節においては、玄関先へ利用者様を誘導し、花見や外気浴を実施。

##### 2、経費削減

- ・排泄物品について  
各フロアにおいて排泄パターンの見直しを行い、適切なパットの使用ができるように排泄介助の一覧表を活用している。
- ・業務体制について  
各フロアにてタイムテーブル及び人員配置の見直しを行い、職員が円滑に業務を行えるように体制を整えている。

##### 3、職員の介護技術の向上、接遇内容の見直しと改善

- ・接遇については、各フロアリーダーより接遇のあり方を職員へ伝えている。今後の課題としては、外部研修等（リモート含む）への参加を行い、フロア会議の場でフィードバックを行っていく体制を作る。
- ・事故事例については、報告書をもとに評価して検討会議の場を設け、担当フロアの職員を中心に対処について検討している。  
今後の課題としては、報告書の記載内容の指導及び評価の見直しを行い、委員会での会議の中で重大事故や再発している事故についての議論を行い、職員一人一人の意識を高めていく。

##### 4、マニュアルの再整備と充実

- ・入浴・服薬・食事介助等全てのマニュアルの見直し
- ・新人教育マニュアルの見直しと整備

## 〈中長期計画報告〉

### 1. 業務改善

- ・ 入浴業務において  
入浴時の職員の配置、業務の効率化を軸に安全で安心な入浴時間の見直しを行っている。
- ・ 事件事例の報告について  
事故防止員会を中心に事件事例の評価体制を実施。  
前年度と同様に事件事例報告書をもとに評価をし、現場の職員が中心になり、相談員、ケアマネ、医務室を含め、検討する場を作っている。今後は、現状の対応の見直し等を職員が積極的に他部署と連携を図れる体制を作っていく。

### 2. 研修

今年度も前年度同様、リーダーを対象に認知症実践者研修への参加が実施できた。研修での知識等を実際のケアへ活かす事ができるように内部での研修や他の職員に認知症のケアの指導を行えれる必要がある。また、前年度からの課題である中堅職員の専門的知識や介護技術の向上を図れるよう年間の研修スケジュールの作成及びフィードバック体制を作っていく。

### 3. 新人教育マニュアルの体制の整備

前年度から作成したコミュニケーションツールを活用する事で新人職員とのコミュニケーションを図り、指導方法の統一ができるようになった。(不明な点や指導した内容を職員間で共有をする事ができた)  
マニュアルを整備し統一した教育体制を整える。

## 令和3年度 給食課事業報告（案）

令和3年度は、「美味しく楽しみのある食事の提供」をスローガンに、安心・安全を第一に、毎日美味しい食事の提供に努めた。又、季節を感じる行事食や御利用者様と一緒に楽しめる食事レクレーションを実施した。

### <目標結果>

#### 1、ミールラウンドの実施、多職種によるチームケアでの食事の提供

令和3年度栄養ケア計画は、新規作成25件、見直し348件を実施した。毎日ミールラウンドを実施し、毎月の栄養ケアカンファレンスにて、食事摂取状況・摂取量・体重経過を多職種にて共有し、お一人おひとりに合った栄養食事支援を行った。

#### 2、食中毒予防

HACCPに沿った衛生管理に取り組み、委託給食会社と衛生管理の情報共有に努め、安心・安全な食事提供に努めた。

#### 3、栄養マネジメント強化加算算定

令和3年10月より管理栄養士2名体制で、栄養マネジメント強化加算の算定を開始し、より丁寧な栄養ケア・マネジメントに取り組み、栄養状態の維持・改善が図れるように多職種連携にて取り組んだ。

#### 4、季節を感じる献立作成

四季を感じる献立作成を行い、御利用者様の意向も取り入れ一緒に楽しめる食事レクレーションを実施した。

#### 5、経口維持加算

経口維持加算の取り組みを継続し、毎月、多職種にて食事観察・会議を行い、御利用者様の咀嚼・嚥下機能の維持・改善に努めた。又、委託給食会社と協力して、日々調整を図り、適切な嚥下調整食を提供した。

#### 6、病院・施設間の栄養情報の共有

入院時に栄養管理連携ファイルを作成し、入院先の栄養士と栄養情報を共有し、繋がる食事支援を行った。

- ・令和3年度栄養給与量、食品構成表は、別紙に添付する。
- ・令和3年度行事食、食事レクレーション実施一覧表を、別紙に添付する。

## 令和3年度 栄養給与量実績

### 栄養所要量

栄養素	施設の栄養基準	1人1日の栄養給与量	充足率
エネルギー	1550kcal	1528kcal	99%
たんぱく質	60g	59.0g	98%
脂質	42g	39.7g	95%
カルシウム	700mg	654mg	93%
鉄	9mg	9.2mg	102%
ビタミンA	700 $\mu$ gRE	691 $\mu$ gRE	99%
ビタミンB1	1.0mg	1.18mg	118%
ビタミンB2	1.2mg	1.13mg	94%
ビタミンC	100mg	116mg	116%

### 食品構成 (g/日)

食品群名	穀類	芋類	砂糖類	油脂類	種実類	豆類	魚介類
施設基準	215	50	10	9	1	70	70
栄養実績	203.1	45.9	10.9	8.7	1.0	66.5	64.5
充足率(%)	94	92	109	97	100	95	92

食品群名	獣鶏肉類	卵類	乳類	緑黄色野菜	他の野菜	果実類	海藻類
施設基準	50	30	200	110	170	100	4
栄養実績	46.8	29	186.3	104.1	166.5	93.4	3.9
充足率(%)	94	97	93	95	98	93	98

令和3年度 特養 食事レクリエーション実施一覧表

実施日	実施内容
4月22日	2F西 フルーチェ作り
4月27日	2F東 和風パフェ作り
5月15日	1F東 たこ焼きパーティ
5月17日	1F西 デコレーションパーティ
6月15日	2F東 デコレーションパーティ
6月21日	2F西 菓子パンパーティ
7月24日	1F東 フルーチェ作り
7月26日	1F西 かき氷パーティ
8月19日	2F西 アイスクリームパーティ
8月27日	2F東 菓子パンパーティ
9月11日	1F東 お菓子バイキング
9月27日	1F西 リッツパーティ
10月26日	2F東 ホットケーキパーティ
11月23日	1F東 鍋会
11月25日	1F西 鍋会
12月16日	2F東 鍋会
12月21日	2F西 鍋会
1月20日	1F西 バイキング
1月25日	1F東 バイキング
2月17日	2F西 バイキング
2月22日	2F東 バイキング
3月22日	1F東 デコレーションパーティ
3月31日	1F西 おにぎり&ラーメンパーティ

令和3年度 デイサービス 食事レクレーション実施一覧表

月	日	行事名
4月	10日	手作りフレンチトースト
	26日	たこ焼きパーティ
5月	21日	焼きそばパーティ
	27日	どら焼きパーティ
6月	22日	鍋会(石狩鍋)
	28日	アイスクリームパーティ
7月	22日	かき氷
	23日	手作りフルーツサンド
8月	20日	天ぷらうどん実演
	30日	パフェパーティ
9月	15日	フレンチトースト
	18日	鍋会(寄せ鍋)
10月	19日	ふかし芋会
	25日	炊き込み御飯実演
11月	17日	お好み焼き実演
	27日	ふかし芋会
12月	24日	クリスマスケーキバイキング
	25日	オムライス実演
	28日	鍋会(石狩鍋)
1月	17日	手作りまんじゅう
	27日	巻き寿司・いなり寿司
2月	14日	ホットケーキパーティ
	25日	おでん実演
3月	16日	いちごパフェ
	22日	鍋会(寄せ鍋)

令和3年度 特養行事食実施一覧表

実施日	イベント名	実施内容
5月5日	子供の日	ちらし寿司、柏まんじゅう、生姜湯
7月7日	七夕	天ぷら盛り合わせ、冷やしそうめん
9月19日	夏祭り敬老祭	たこ焼き、焼きそば、どら焼き等
11月23日25日 12月16日21日	鍋を囲む会	ちゃんこ鍋
12月25日	クリスマス	チキンライス、ハンバーグ等
12月31日	大晦日	年越しそば
令和4年 1月1～3日	正月(1～3日)	おせち料理、雑煮、天ぷら、ちらし寿司等
1月20日1月25日 2月17日2月22日	バイキング	いなり、巻き寿司、惣菜等
2月3日	節分	散らし寿司、生姜湯等
3月3日	雛祭り	散らし寿司、ひなあられ、甘酒、等
3月21日	春分の日	おはぎ
毎月1日	月替わり	赤飯、天ぷら
毎月2回 日曜日 (1F 2F)	喫茶日	ケーキ、コーヒー、紅茶、生姜湯、りんごジュース

# 令和3年 医務室 事業報告（案）

宝塚シニアコミュニティー 医務室

## 1. スローガン

「個々の利用者进行评估し、ニーズに寄り添った看護を実践する」

## 2. 課題

- ①. 利用者の健康管理、維持に努める
- ②. 感染対策実践の徹底及び情報の共有
- ③. 業務手順作成にて随時見直し・改訂を図り、業務のスリム化を推進
- ④. 他施設・地域と交流し連携を図る
- ⑤. 医療事故の防止。都度検討会議の実践、再発防止に繋げる

## 3. 業務活動内容

- 1) 嘱託医 週1回の回診 : 入所者様の状態を観察し、体調変化に伴い医療へ繋げる
- 2) 各科往診 : 皮膚科・心療内科 月2回 眼科 月1回 (不定期)
- 3) 歯科検診 : 2回/年 7月・11月に実施
- 4) 耳鼻科検診 : 1回/年 8月・9月に3日間に分け実施
- 5) 入所者検診 : 7月～9月にかけて実施 (直近入所者は除く)
- 6) 新型コロナワクチン接種 : 3回目接種 1月～2月に実施
- 7) 肺炎球菌ワクチン予防接種 : 9月に実施 接種者4名 (対象者11名)
- 8) インフルエンザ予防接種 : 10月～11月に実施 接種者89名・未接種者4名
- 9) その他 : ショート業務の簡素化 ・医務会を定期開催し情報共有を図った  
処置表や受診送迎表で業務情報を介護職員と共有し連携を図った

## 4. 評価

慢性疾患や身体機能低下に伴う障害と共存しながら施設生活の継続が図れるようエビデンスに基づき、状態変化へ即応した観察と看護ケアに努めた。水分・食事摂取量や体重の推移また、定期採血等のデータを多職種と共有・アセスメントし補助食品や予防吸引・点滴実施、受診等の可否について嘱託医・専門医へ積極的に提案し必要時速やかに医療へ繋げ長期入院にならぬよう努めた。然しながら基礎疾患の増悪や加齢に伴う身体機能の低下により受診に繋がったケースも多くあり、入院後そのまま退所となった利用者様が年度末に重なった。

医務会やリーダー会を通し、医務・介護業務での連携がスムーズにできるよう意見交換を行い業務分担の見直しや新たに処置表を作成、入浴時に連携して処置ができるようにし利用者様への負担の軽減を図ると共に業務の効率化に努めた。

新型コロナ感染により感染対策への関心・意識は高く保たれており施設全体で感染対策の継続に取り組み本年度も施設内感染を発生させることがなかったことは評価できる。

## 5. 来年度に向けて

多職種と情報共有を図り看護的観点から利用者様の観察を密に行い、状態の変化を見逃さず的確な初期対応の機を逃さぬよう努める。介護業務とスムーズに連携できるよう意見交換を継続し業務の効率化を図っていく。



医務室 中期計画：3年間（2019年、2020年、2021年）の実績報告

宝塚シニアコミュニケーションセンター 医務室

医療介護ニーズの高い利用者の増加に伴い、疾患や身体機能低下に伴う障害と共存しながら、日常生活への適応を図っていく必要性が高まっている。介護施設に於いても個々のニーズに寄り添い施設生活の継続を支援していくため、医療・看護の視点を持って多職種と情報共有を図り、ケアカンファレンスや日々の申し送り等で注意点や観察点をアセスメントし身体機能を含めた状態の変化に即応でき得るよう努めた。ケア方法などは介護視点からも意見を聞きながらエビデンスに基づいたケアが提供できるよう努めた。

医務会やリーダー会を通して、医務・介護業務での連携がスムーズにできるよう意見交換を行い業務分担の見直しや新たに処置表を作成し入浴時に連携して処置ができるよう利用者への負担の軽減を図ると共に業務効率化に努めた。

コロナウイルスによる新型コロナウイルスの収束が見通せず、職員一人一人の感染対策への意識は高く保たれており、発症リスクが想定される状況時には、適宜感染対策会議を設け周知徹底することで利用者を含め施設内感染を予防した。

医療依存度の高い利用者が増えている現状では入院のリスクは避けられない。食事や水分の摂取状況やバイタルサイン等の小さな変化の推移を見逃さず囑託医の助言に基づき医療へ繋げることで長期入院に至らぬよう努めた。

令和1年度	令和2年度	令和3年度
マニユアルの整備	マニユアルの整備	マニユアルの整備
マニユアルの更新 見直し 加算の取れる体制作り（オンラインコール・摂食嚥下） 介護職員等に対する医療知識の啓発（吸引） 自己啓発の促進	マニユアル新作成・更新・見直しの継続 加算体制の充実を図り継続する 介護職員等に対する医療知識の啓発 自己啓発の促進	マニユアル新作成・更新・見直しの継続 業務のスリム化を図る 介護職員等に対する医療知識の啓発 感染対策実践訓練
医療研修	医療研修	医療研修
年6回の研修継続	年6回の研修継続	内外の研修参加の推進（Web研修）
数値目標	数値目標	自己研鑽の啓発
入院率5%以下	入院率5%以下	数値目標
		入院率5%以下

令和3年度 医務室事業報告 (案)

月別入院日数と入院率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
延べ受入可能数	2,700	2,790	2,700	2,790	2,790	2,700	2,790	2,700	2,790	2,790	2,520	2,790	32,850	32,940
延べ未入所空床日数	82	0	19	0	24	16	21	0	20	40	62	105	389	221
延べ所在日数	2,566	2,688	2,571	2,735	2,611	2,527	2,666	2,602	2,670	2,641	2,381	2,582	31,240	31,617
延べ入院日数	52	102	110	55	155	157	103	98	100	109	77	103	1,221	1,102
入院率	2.0%	3.7%	4.1%	2.0%	5.6%	5.8%	3.7%	3.6%	3.6%	4.0%	3.1%	3.8%	3.8%	3.4%

月別通院件数 (網掛内は救急車要請件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
第一病院	1	5	1	3	4	4	3	2	1	8	3	2	37	24
宝塚市立病院	5	2	2	3	1	1	4	5	2	4	4	4	37	66
こだま病院	4	4	7	8	5	2	8	6	2	4	3	3	56	74
宝塚病院	1	1	3	4	1	1	3	3	2	1	3	1	24	4
兵庫中央病院	1												1	3
三田市民病院			1			2	1	1	1		1	4	11	20
恒生病院	1			1						1		1	4	1
国保診療所・歯科	11	11	11	4	11	9	11	4	10	11	8	15	116	164
その他	2	3	6	2	5	8	6	3	14	10	7	12	78	41
合計	26	26	31	25	27	27	36	24	32	39	29	42	364	397

月別回診・往診件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
寺林Dr回診	110	75	116	94	94	117	94	96	120	99	96	115	1226	1117
尾口皮膚科	42	41	43	49	36	43	45	40	40	47	43	54	523	422
堀心療内科	93	96	94	92	89	91	91	89	91	89	96	93	1104	1033
柴田眼科	27	0	23	18	15	17	0	20	17	17	0	19	173	208
藤村耳鼻咽喉科					30	60							90	86
本田理学療法士	14	10	15	10	4	10	10	8	8	14	16	10	129	133
合計	286	222	291	263	268	338	240	253	276	266	251	291	3245	2999

月別国保診療所・歯科・口腔ケア訪問人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
	4	3	6	5	6	5	6	5	4	5	6	7	66	66
	33	65	99	65	67	45	61	52	44	58	76	79	744	662

## 令和3年度 通所介護事業所事業報告（案）

宝塚シニアコミュニティ  
通所介護事業所

### ○まとめ

令和3年度は「主役はお客様」をスローガンとし、1日平均18名、稼働率60%を目標として運営。

令和3年度 利用者総数：5619名／9330名 稼働日数：311日

稼働率：60.2% 平均利用人数：18名／30名

（各月毎のデータは添付資料に記載）

事故件数：8件 苦情件数：1件（食事1件）

事例件数：3件（離設2件、転倒5件、車の物損1件）

体験利用人数：33名、新規獲得29名

在宅にて出来るだけ利用者様が、自立した日常生活を続けられるように、個々の身体状態を把握し、最適介助を行うとともに機能訓練を行い、身体機能・生活機能の向上・維持を図ります。

また、新たなサービスやレクリエーションを考案し、利用者の皆様が楽しく、穏やかな時間を過ごせるように努めてまいります。

### 課題

#### 1) ご利用者数、ご利用日数の増加

ご利用者数、ご利用日数の増加を図るべく地域包括支援センターや居宅介護支援センターと協力し、利用者様の情報の共有を行う。

（利用者様個々のニーズをしっかりと把握し、進んで利用していただけるように努める）

#### 2) ご利用者様やご家族様に満足して頂けるよう、送迎時間や曜日変更等できる限り希望に沿える様に柔軟な対応を行う。

### <実績>

#### 1) 新規利用者は月平均2.4名の獲得

コロナウイルスの影響もある中、目標の月1.8名は達成いたしました。今後も、毎月末にモニタリングを実施、ケアマネージャーへの報告を徹底、他部署との連携等合わせて実施することにより、信頼の獲得、満足度を向

上を図り、新規利用者様の獲得、既存利用者様の利用回数の増加を図っていきます。

2) 個別機能訓練加算、運動器機能訓練

柔道整復師、理学療法士により個別機能訓練Ⅰイ・Ⅰロ、運動器機能訓練の加算を実施できている。新規ご利用者様については基本全ての利用者様に機能訓練を実施して頂く様勧めている。

3) 地域との交流

コロナウイルス感染予防の為、ボランティアの受け入れ、地域のサロン等への参加はできていません。

○中期3ヵ年計画について

- ・新規獲得平均1.8/月は2.4/月にて達成。
- ・スタッフの補充について、職員5名着任、4名退職  
(現在、職員7名(柔道整復師、理学療法士含む)、パート3名)
- ・地域との連携については、現在コロナウイルス感染予防の為地域のボランティア等の受け入れは行っていません。  
その他の事業所との連絡、連携については、お客様との連絡帳を活用したり、直接事業所に電話連絡を入れたり、直接訪問することで関係性を築いています。

## 令和3年度 事業報告書 (案)

宝塚シニアコミュニティ  
訪問介護事業所

### □令和3年度事業計画目標達成状況

1. 昨年度に引き続きコロナウイルス感染予防のためにサービス担当者会議については照会状でのやり取りとなったが、ケアマネジャーとの連絡を密にして計画書に基づき支援することができた。
2. 職員間で技術の差があり生活援助のみ対応可能な職員がいるので、技術の習得に向けて今後も全員で成長していきたいと考える。
3. ご利用者様お1人お1人のお気持ちや思いを事業所内で共有していく。また、今後の課題として、事例検討会や研修に参加して他事業所とも情報交換を行っていく。

### 【実施状況】(令和4年度3月現在総数)

#### 1. 利用者数

契約者数 (要支援・要介護認定者)

69名

#### 2. 月別利用者数

	支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
令和3年4月	16	16	14	11	6	7	70
5月	16	16	14	9	6	7	68
6月	18	15	15	7	6	8	69
7月	18	16	16	10	6	8	74
8月	16	18	16	9	6	8	73
9月	17	18	14	8	7	8	72
10月	17	16	14	12	7	8	74
11月	17	15	16	13	5	6	72
12月	20	15	17	13	6	6	77
令和4年1月	21	16	15	11	6	7	76
2月	19	16	16	9	6	6	72
3月	20	14	15	8	5	7	69

### 3. サービス利用状況

	生活援助		身体介護		身体生活		
	回数	時間 (H)	回数	時間 (H)	回数	時間 (H)	うち身体
令和3年4月	258	223 : 00	489	278 : 00	127	137 : 30	67 : 22
5月	239	215 : 45	537	296 : 30	122	130 : 45	61 : 57
6月	230	197 : 45	507	281 : 30	105	117 : 00	57 : 22
7月	256	217 : 45	523	278 : 40	128	144 : 30	72 : 22
8月	240	204 : 30	483	263 : 25	135	151 : 45	75 : 20
9月	203	175 : 05	496	264 : 25	179	193 : 45	96 : 27
10月	217	187 : 45	472	259 : 10	161	176 : 00	85 : 39
11月	249	215 : 20	404	227 : 30	128	142 : 30	70 : 33
12月	248	216 : 25	416	249 : 35	127	144 : 30	71 : 09
令和4年1月	232	212 : 40	399	233 : 55	110	117 : 30	56 : 10
2月	218	190 : 05	388	217 : 30	119	128 : 30	59 : 50
3月	192	182 : 50	482	265 : 00	115	126 : 45	59 : 48

	予防訪問介護		通院乗降加算
	回	時間 (H)	回
令和3年4月	111	108 : 45	0
5月	94	91 : 45	0
6月	111	109 : 30	0
7月	117	114 : 00	0
8月	93	91 : 30	0
9月	98	96 : 45	0
10月	103	102 : 50	0
11月	105	105 : 00	0
12月	111	111 : 00	0
令和4年1月	94	94 : 00	0
2月	81	81 : 00	0
3月	103	103 : 00	0

【利用状況】 R4. 3. 31 実績、計 69名

1. サービス別利用者数

身体介護サービスのみ	20名
生活援助サービスのみ	18名
身体生活援助	20名
予防訪問看護	11名

2. 利用者住居形態

独居	43名
高齢者世帯	12名
同居世帯	13名
日中独居	1名

3. 利用回数

1回/週	23名
2回/週	22名
3回/週	6名
4回/週 (1日2回含)	3名
5回/週 (1日2回含)	2名
6回/週 (1日2回含)	7名
7回/週	3名
不定期	3名

4. サービス利用状況

	回数	時間
身体介護	482回	265:00
生活介護	192回	182:50
身体生活	115回	126:45
予防訪問介護	103回	103:00
計	892回	677:35

以上

## 令和3年度 配食サービス事業報告 (案)

宝塚シニアコミュニティ  
配食サービス

- ・令和3年度 事業計画目標達成状況
  - ・配達時は、御利用者様のお顔を拝見し、不在時には緊急連絡先と連携し安否確認を徹底した。
  - ・御利用者様の意向や変化があった際は、関係機関に繋ぎ対応を図った。
  - ・隔月配食委員会を実施し、配達員との情報共有を徹底し、統一されたサービスを実施した。
- ・ 月別配食支援数 令和3年4月～令和4年3月 (総食数 10337 食)

年 月	昼食	夕食	合計
令和3年 4月	425	550	975
5月	409	516	925
6月	362	515	877
7月	397	532	929
8月	387	487	874
9月	377	495	872
10月	378	529	907
11月	353	523	876
12月	344	538	882
令和4年 1月	319	458	777
2月	286	417	703
3月	301	439	740



## 令和3年度 介護タクシー事業報告（案）

訪問介護事業所介護タクシー  
作成者 伊禮秀晃

### 1 令和3年度事業報告について

交通機関の少ない西谷地域で利用者の自立した日常生活が送れるようにサービスを提供できています。また比較的低い介護度の利用者様が多い為、移送中、状態が急変することもなく、道路交通法を遵守し安全にサービス提供を行っております。

今年度は、運転手の1名増員、定期受診のお客様の増加により売り上げは前年度より99,610円増額となっています。近隣利用者の通院が大半を占めています。

### 2 年間実績

稼働日数 53日 (前年40日/前年比+13日)

輸送回数 66回 (前年54回/前年比+12回)

4月～3月売り上げ 251,530円 (前年151,920円/前年比99,610円)

### 3 今後の課題と対策

定期的な受診のお客様を確保し、安定した売り上げを確保すること。またコロナウィルスの感染が収束になった場合には特養利用者が御家族様と外出する機会を持つことができるようし、特養お客様の生活にも楽しみ増え利用者様の生きがいに繋げていきます。

### 4 定期利用のお客様

S氏 自宅から病院への通院 (頻度 2か月に1回程度)

Y氏 自宅から病院への通院 (頻度 2～3ヶ月に1回程度)

### 5 令和3年度実績と今後の数値目標について

	令和2年度 実績	令和3年度 計画①	令和3年度 実績②	令和3年度 差異①-②	令和4年度	令和5年度
運送回数	40	60	53	+7	65	65
輸送人員	54	60	66	+6	65	65
営業収入	¥151,920	¥175,000	¥251,530	¥76,530	¥210,000	¥21,000

\*令和4年度、令和5年度は目標数値です。

以上

## 令和3年度事業報告（案）

特別養護老人ホーム  
宝塚シニアコミュニティ  
居宅介護支援事業所

### 1. 令和3年事業計画課題について

- ① 要支援の利用者様においては、西谷包括・猪名川包括・三田包括・花屋敷包括と連絡を取り合い、滞りなくサービスが利用できるよう努めた。
  - ・各包括支援センターへの定期的な連絡と訪問をおこなった。
  - ・宝塚市・三田市・猪名川町の事業者協会事業に参加した。
  - ・週に1回の事業所内会議の開催による情報の共有やケアマネジメントの質の向上をおこなった。
- ② アセスメントは、ICFの考えを基本に、その人を深く知るよう努め、居宅サービス計画書に反映させるよう努めた。
  - ・サービス担当者会議を適切におこない事業者間の連携を図った。
  - ・毎月の自宅訪問を行い、評価をおこなった。
- ③ 法令を順守し、個人情報の管理・利用は適切におこなった。
- ④ 主治医、訪問看護事業所、入院医療機関、調剤薬局等との連携を図り、入退院時の情報提供がおこなった。
- ⑤ 苦情件数は0であった。
- ⑥ コロナ禍であったが、介護支援専門員としての資質の向上に努め、各自積極的に研修に参加し、情報・知識の習得に努めた。
  - ・研修実施記録は、添付書類参照とする。※年間研修計画及び実施表あり。
  - ・情報 月間「ケアマネジャー」の購読をおこなった。
- ⑦ 各利用者個人ファイルに、自主点検確認票を挟み、各自で毎月書類不備有無の確認を行い、さらに、半月に1回居宅介護事業所にて内部チェックを行い、事業所減算に該当するものはなかった。

⑧認定調査の委託事業を開始し、滞りなくおこなうことができた。※実績表添付あり。

利用者確保による数値目標の達成はできなかったが、要介護給付管理件数は、大きく上回ることができた。

令和3年度目標給付管理件数 目標給付管理件数 170 件→結果 184 件

- ・要支援給付管理件数 40 件/月→結果 37 件/月
- ・要介護給付管理件数 130 件→結果 147 件/月

※実績表添付あり。

2. 中期 (3 ヶ年) の (2019 年、2020 年、2021 年) 給付管理件数

	要介護	要支援	合計
2019 年 (令和元年)	98	40	138 (常勤換算 4.8)
2020 年 (令和2年)	108	32	140 ( // 4.8)
2021 年 (令和3年)	147	37	184 ( // 5.6)

令和3年度 年間研修計画 及び 実施

宝塚シニアコミュニティ居宅介護支援事業所

【全体研修会議】

- 宝塚シニアコミュニティ内プロジェクト企画による研修  
(目的) ・法人理念・施設理念・各部署事業計画を共有する。

予定	実施日	研修内容	講師	参加者
6月	21.22	事業計画・法人理念・規則について	繁田施設長	鈴木・緑谷・西 田中・杉山・仲川

【介護支援専門員研修】

- (目的)  
感染症や災害が発生した場合であっても、必要なサービスが継続的に提案提供できる。地域の中で尊厳ある自立した生活を継続できるように、課題を抽出し、具体策の提案ができる。医療・保健・福祉の知識をより深く習得し、ケアマネジメントの質を向上させる。研修を通して、介護支援専門員の横のつながりを深める。

研修内容	研修名	研修開催年月日	主催・場所	参加者	研修の内外区別	備考	
・多職種との連携	令和3年度介護報酬改定について	4月14日14:00～16:00	宝塚市全体研修 ZOOM	鈴木・緑谷・西・田中・杉山・仲川	外部	実施	
	ケアマネジメントの進め方 王ニタリク	5月7日9:30～10:15	宝塚シニアB1会議室	鈴木・緑谷・西・田中・杉山・仲川	内部	実施	
	法的根拠を押さえたケアマネジメント 自立支援型ケアプランの作成 あたご研究所	5月17日 14:00～16:30	宝塚市第2回全体研修 WEB個別配信				
	ケアプラン研修	5月28日13:30～15:15	宝塚市	鈴木・西	外部	実施	
	ストレスマネジメント	5月	県協会				
	ケアマネジメントの進め方 総括	6月	宝塚シニアB1会議室	鈴木・緑谷・西・田中・杉山・仲川	内部	実施	
	スーパービジョン	6月25日14:00～17:00	ZOOM	鈴木	外部	実施	
	身体拘束廃止に関する指針	6月	宝塚シニアB1会議室	鈴木・緑谷・西・田中・杉山・仲川	内部	実施	
	内部事例検討会	7月	宝塚シニアB1会議室	鈴木・緑谷・西・田中・杉山・仲川	内部	実施	
	アンガーマネジメント	8月	県協会	西	外部	実施	
・多職種との連携他法人居宅との共同事例検討	スーパービジョン	7月16日14:00～17:00	ZOOM	鈴木	外部	実施	
	気づきの事例検討会基礎講座	8月9日14:00～17:00	ZOOM	西 鈴木	外部	実施	
	気づきの事例検討会基礎講座	8月25日14:00～17:00	ZOOM	西 鈴木	外部	実施	
	第1回宝塚市認定調査員研修	9月	ZOOM	田中 杉山	外部	実施	
	西谷包括との事例検討会	9月29日	宝塚シニアB1会議室	鈴木・緑谷・西・田中・杉山・仲川	内部	実施	
	安全運転講習	9月	宝塚シニアB1会議室	鈴木・緑谷・西・田中・杉山・仲川	内部	実施	
	2021年度気づきの事例検討会	10月23日	スミレン小林1階	西	外部	実施	
	虐待に関して	10月	宝塚市	緑谷	外部	なし	
	感染症について	10月	宝塚シニアB1会議室	鈴木・緑谷・西・田中・杉山・仲川	内部	実施	
	第1回介護保険住宅改修研修会	11月12日	宝塚市 オンライン	緑谷	外部	実施	
・感染症や災害対策に関する研修 ・ケアマ	発達障害の理解	11月18日	宝塚居宅部会 ZOOM	仲川	外部	実施	
	内部事例検討会	12月18日	宝塚シニアB1会議室	鈴木・緑谷・西・田中・杉山・仲川	内部	実施	
	カスタマーハラスメント研修	1月12日	宝塚市介護保険事業者協会	田中	外部	実施	
	2021年度気づきの事例検討会	1月15日	ZOOM	西	外部	実施	
	第3回事例検討会を行う意義について	1月31日	宝塚市介護支援専門員全体研修会	西	外部	実施	
	高齢者虐待対応研修会	3月10日	宝塚市第7地区 ZOOM	緑谷	外部	実施	
	宝塚市薬剤師会との連携強化に向けた地域ケア会議	3月9日	ZOOM	緑谷	外部	予定	
	第4回全体研修 権利擁護	3月8日	ZOOM	杉山 鈴木	外部	予定	
	内部事例検討会	3月	宝塚シニアB1会議室	鈴木・緑谷・西・田中・杉山・仲川	内部	予定	
	2021年度気づきの事例検討会	3月19日	ZOOM	西	外部	なし 実施	



利用者数年間推移（介護度別）

期間 介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 人数
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
要介護1	58	59	58	56	56	58	59	65	69	69	76	74	757
要介護2	26	26	29	31	31	30	33	36	38	38	35	38	391
要介護3	29	31	29	29	30	30	31	30	31	31	30	30	361
要介護4	8	6	5	5	4	4	4	4	3	3	2	2	50
要介護5	2	3	3	4	4	4	5	4	3	3	4	3	42
介護合計	123	125	124	125	125	126	132	139	144	144	147	147	1601
支援1	17	17	16	17	19	18	20	19	17	17	18	17	212
支援2	15	13	19	19	20	21	19	18	20	22	20	20	226
支援合計	32	30	35	36	39	39	39	37	37	39	38	37	438
総合計	155	155	159	161	164	165	171	176	181	183	185	184	2039

加 算

入院 I	0	0	2	2	2	2	0	3	2	0	0	1	14
入院 II	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	5
退院 I イ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院 I ロ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
新規	8	5	5	4	4	4	7	10	6	4	7	4	68
支援より	1	0	2	1	0	0	0	1	1	0	1	0	7
2段階変更	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	2	7
2カ月サービス無	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
サービス担当者会議	32	28	39	38	42	31	27	32	40	51	47	45	452

令和3年度 地域包括支援センター別 予防利用者数年間推移

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
支西 援谷 セ ン タ ー 地 域 包 括	要支援1	5	5	5	6	5	6	6	6	6	6	7		68
	要支援2	6	3	7	8	9	6	6	7	7	6	5		79
	合計	11	8	12	13	15	12	12	12	13	13	12	12	147
	備考			2	3	0						区変 1		新規 6 終了 0
花 屋 敷 地 域 包 括	要支援1	2	2	3	3	3	3	2	3	3	3	3		33
	要支援2	4	5	5	5	5	6	7	8	9	9	9		80
	合計	6	7	8	8	8	9	11	9	11	12	12		113
	備考		1	1									新規 2 終了 0	
猪 名 川 地 域 包 括	要支援1	4	4	2	4	5	5	6	3	3	4	3		47
	要支援2	2	2	4	3	3	3	3	3	4	3	3		36
	合計	6	6	6	7	8	7	8	6	7	7	6		83
	備考			1	1	1						区変 1	新規 4 終了 2	
三 田 市 地 域 包 括	要支援1	6	6	6	5	5	6	6	5	5	5	4		65
	要支援2	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	3		33
	合計	9	9	9	8	8	9	9	7	7	7	7		98
	備考												新規 0 終了 1	
長 尾 地 域 包 括	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	備考												新規 0 終了 0	
事業所合計	要支援1	17	17	16	17	19	20	20	17	17	18	17	0	213
	要支援2	15	13	19	19	20	20	19	20	22	20	20	0	228
	合計	32	30	35	36	39	40	39	37	39	38	37	0	441
	備考	新規 0 終了 0	新規 1 終了 2	新規 4 終了 0	新規 4 終了 1	新規 1 終了 0	新規 0 終了 0	新規 0 終了 0	新規 0 終了 0	新規 0 終了 0	新規 0 終了 0	新規 0 終了 0	新規 2 終了 0	新規 0 終了 0

## 令和3年度 西谷地域包括支援センター事業報告書（案）

### 1 令和3年度の重点課題

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発令され、自粛生活を送る中、住民の生活は今までと全く変化しており、人との交流を制限せざるを得ない状況となっている。特に高齢者は集いの場などの休止や外出自粛により自宅に閉じこもることが多く、今まで築いてきたつながりが弱くなってきている。活動や人とのコミュニケーションを制限され、精神・認知・身体機能に低下をきたしている状況であると考えられる。また、自粛により家族関係の変化により複雑な問題を呈しているケース、相談先へつながりにくいケースもある。

### 2 活動状況と評価

令和3年度期間の半分以上が緊急事態宣言下もしくはまん延防止重点措置期間となっており、感染対策を講じながら状況に応じて活動を進めている。依然住民同士の関係づくりには難しい状況が続いているが、ウィズコロナへシフトする中、感染対策を講じながら交流を結びなおすこと、自粛生活の影響からのフレイルや家族関係の悪化などに対応していく必要がある。

地域の住民・民生委員との情報交換や従来からの関係機関に加え、新しく認知症医療機関、薬局、障碍、司法等との連携も進めてきている。支援の必要な対象者について情報をいただくことが増えており、多方面から連絡の入りやすい環境を整えることができている。また地域の会議や人の集まる場にも積極的に参加することで、地域住民のおかれた状況を理解し、一緒に課題解決策を考えることができている。今後地域の専門職や、社会福祉法人等とも連携し、地域包括ケアシステム拡充に向けた取り組みを進めたいと考えている。

認知症に関する取り組み、介護予防の取り組み等は住民とともにやってきた。住民主導となっていくよう、住民のスキルアップ支援も行っている。

困難事例の対応をする中で、他事業所との連携に課題を感じ、相互理解を促しチームで対応をしていくことができるよう研修を企画実施した。今後も啓発と多職種連携を推進していく予定である。

### 3 活動実績（下線部は今年度新規の参加・活動）

#### 1) 地域におけるネットワークの構築

- ・西谷地域の会議体への参加  
(民生児童委員協議会定例会（月1回）、まち協福祉部会3回、まち協役員会1回、にしたにささえあい会議1回（打合せ1回）)
- ・大原野中部のささえあい活動支援2回（打合せ3回）
- ・社協地区センターとの連絡会5回
- ・地域生活支援会議2回（打合せ5回）
- ・障碍相談支援事業所との連絡会1回
- ・宝塚市薬剤師会との地域ケア会議2回（打合せ5回）
- ・兵庫県薬剤師会主催研修での連携に関する講義1回
- ・宝塚地域みまもり隊交流会1回
- ・包括社会福祉士連絡会1回



- ・相談援助職向け多職種連携研修開催 4 回
  - ・医療機関、障害事業所等との情報共有・相談
- 2) サロン・いきいき百歳体操など集い場・介護予防の支援（講師含む）
- ・サロン参加 4 回・ミニデイ参加 4 回
  - ・ミニデイ運営についての会議 1 回
  - ・いき百支援 2 回、いき百立ち上げ支援の会議 1 回（令和 4 年度スタート）
  - ・オーラルフレイル予防教室企画（令和 4 年度スタート）
  - ・自立支援型地域ケア会議への事例提供・提供支援 2 回
- 3) 総合相談支援
- ・総合相談対応数 計 1172 件（内新規 42 件）  
 相談内訳は介護保険サービス、介護保険制度・申請に関する相談が最多で、認知症や精神疾患等にかかわる相談、入退院相談、介護予防に関する相談対応も多かった。  
 権利擁護に関する相談は、虐待疑いへの相談が多く、増加傾向である。
  - ・出張なんでも相談参加 8 回
  - ・令和 3 年度包括への相談より実態把握と課題分析をまち協福祉部会へ提示
  - ・医療・介護・障害等他機関よりケース提供、情報共有
- 4) 認知症施策
- ・認知症に関する講座（認知症サポーター養成講座含む） 3 回
  - ・オレンジカフェ開催 5 回
  - ・キャラバンメイト養成講座開催（近隣他市と合同開催） 1 回
  - ・オレンジカフェ交流会 1 回
  - ・認知症疾患医療センターとの連携会議 2 回（兵庫中央病院、市立伊丹病院）
  - ・認知症啓発・支援への地域住民の参画促進（交流会・養成講座参加）
  - ・地域みまもり隊への加入勧誘（2 事業所が加入）
- 5) 権利擁護支援
- ・高齢者虐待・困難事例への対応
  - ・権利擁護について住民への啓発（サロン、民生委員に対して）
  - ・虐待対応研修会開催 2 回（内 1 回は 7 地区対象）
  - ・法テラスとの連携会議 2 回
- 6) ケアマネジメント支援
- ・ケアマネからの相談対応
  - ・ケアプラン研修（1 回）・宝塚市介護支援専門員全体研修会（2 回）運営
  - ・ケアプランチェックフォロー面談についての協議 1 回と面談同席 1 回
  - ・自立支援型地域ケア会議事例提供・提供支援 2 回
  - ・施設内事例検討会事例提供、参加
- 7) 介護予防ケアマネジメント給付管理実績
- 包括直接担当 200 件 再委託 304 件

#### 4 中期（3か年）の実績報告

少子高齢化だけでなく、公共交通の変化、新型コロナウイルス感染症の流行等、地域の状況が大きく変化する中での活動であった。

まず高齢者世帯・高齢独居世帯の現状把握と相談窓口の周知として、個別訪問を行った。そこから相談につながるケースもあり、顔の見える関係づくりの重要性を認識した。

公共交通の減少により住民の生活には受診困難等の影響が出てきはじめ、今までなかなか進まなかった既存の外出支援について見直しを始めることができた。また、地域の会議に積極的に参加することで、この西谷住民がどのような方向に向かおうとしているのかを把握し、一緒に考える基盤を作ることができた。

コロナ禍での住民同士の交流促進は難しく、安心して生活し続けるためのみまもりや介護予防の啓発事業は縮小傾向となったが、感染状況の落ち着いているときに活動を積極的に行い、オンライン化等感染対策をしながらできることを模索してきた。また活動できる住民を巻き込みながら一緒に活動を続けてきた。コロナフレイルとの言葉も生まれる中、社会的フレイル、身体的フレイルにどう対応していくのかはこれからの課題でもある。

またフレイル以外にも生活様式の変化から家族関係の悪化が目立ってきている現状や、8050 問題の顕在化でトラブル・虐待対応が必要なケースが入ってくるが増えた。他分野にわたる複雑な対応が増える中、対応する専門職側の課題も明らかになった。お互いの理解と連携の強化が必要であり、この3年間でその基盤整備ができたと考える。

以上

## 令和3年度 宝塚シニアコミュニティ委員会

令和3年7月8日改定

		委員会名	前委員長	前副委員長	委員
A	1	入所計画委員会	戸高	橋本	繁田・戸高・橋本・吉田・鈴木・沖田・芳村
B	2	苦情処理委員会	繁田	戸高	繁田・伊禮・戸高・橋本・芳村・山下 荒木・松林・鈴木・紀ノ本・沖田
	3	個人情報管理委員会	繁田	戸高	
	4	教育研修推進委員会	山下	芳村 田中	繁田・伊禮・戸高・橋本・芳村・山下 福田・玉谷・藤本・荒木・松林・鈴木・紀ノ本
C	5	身体拘束廃止委員会	繁田	芳村	繁田・戸高・橋本・芳村・沖田
D	6	事故防止対策委員会	芳村	勝間田	繁田・戸高・勝間田・福田・芳村・藤本・玉谷・西村・澁谷・近藤・西田
E	7	サービスクラウド委員会	松林	緑谷	伊禮・勝間田・福田・緑谷・松林・阿茂瀬・紀ノ本
F	8	衛生委員会	伊禮	岡本	岡本・藤原・上田・阿茂瀬・道端 衛生管理者(伊禮)・産業医・感染対策委員会
G	9	給食委員会	吉田	藤原	繁田・橋本・吉田・沖田・藤原・斎藤・真鍋・辻本・神尾 角井・田村
H	10	配食委員会	吉田	岡本	繁田・伊禮・吉田・岡本・司辻・松林・西
I	11	防火・防犯対策委員会	芳村	西田	芳村・植村・西田・加藤信・田中
J	12	感染対策委員会	沖田	石橋	繁田・伊禮・沖田・橋本・吉田・加藤雄・西田・山下・近藤・朝山 中野・石橋・阿茂瀬・田村・紀ノ本
K	13	編集委員会	伊禮	緑谷	伊禮・牧・西村・植村・緑谷・山本・藤野・柴田
L	14	園芸委員会	斎藤	角井	吉田・牧・藤原・上田・植村・山下・辻本・近藤・森上 斎藤・山添(園芸委員会のみ角井・信濃)
	15	行事運営委員会	近藤	山添	
	16	レクリエーション委員会	藤原	辻本	
M	17	職員親睦会	田中	藤原 石橋	岡本・藤原・石橋・司辻・山田・田中
N	18	褥瘡研究委員会	沖田	玉谷	本田PT・沖田・芳村・福田・澁谷・玉谷・吉田厚・藤本・藤原・西 村・山添・加藤・中野・加藤信
	19	リハビリテーション パワーリハビリテーション委員会	福田	藤本	
O	20	医療的ケア 対策推進委員会	繁田	沖田	繁田・配置医・戸高・橋本・吉田・芳村・沖田
P	21	接遇向上委員会	芳村	玉谷	伊禮・芳村・福田・玉谷・藤本・石橋 松林・荒木・田中・山本・藤野
Q	22	業務改善委員会	山下	辻本	芳村・上田・福田・藤本・山下・澁谷・辻本・神尾・朝山

7/4改定 追加<事務所>牧⇒園芸・編集 <通所>司辻⇒配食・親睦会 <訪問>道端⇒衛生 <特養>森上⇒行事  
削除<居室>杉山⇒接遇

\* 名簿に誤りがある場合は事務所まで連絡ください。



令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 宝成会

介護老人保健施設 加西シニアコミュニティ

## 令和3年度 介護老人保健施設 事業報告

老人保健施設が本来の役割を全うすると共に利用者様、職員が同じ時間を有意義に過ごせ安心かつたのしい場所であるよう努める。

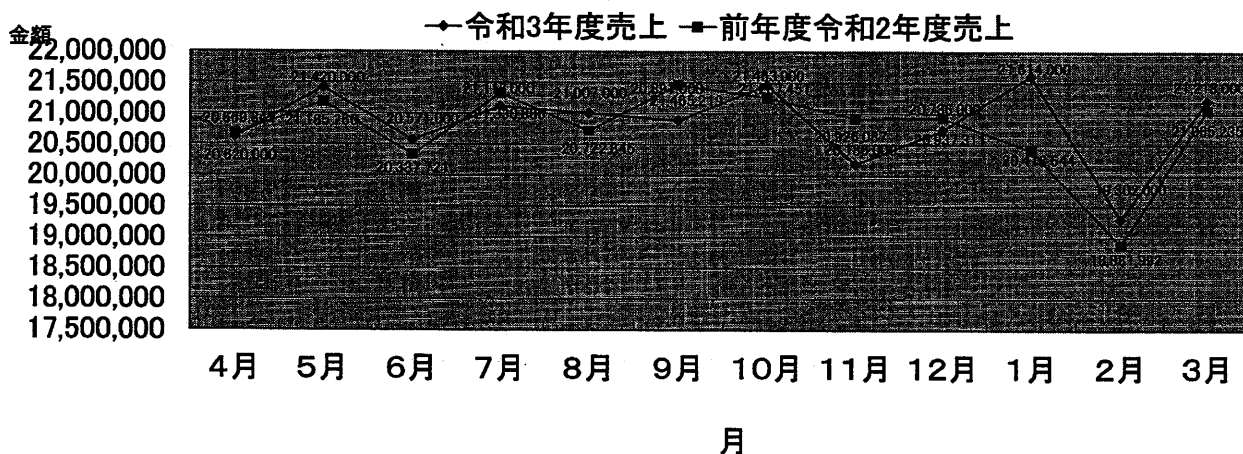
- ① コロナ禍の為外部研修などは中止となることが多く学びの機会は少なかった。また密を避けるため施設内研修も少人数にて実施する。令和4年度も感染予防に努めながら研修等を行う予定。
- ② 地域の福祉施設の役割及び老人保健施設としての機能を維持するべくコロナ禍においても新規入所者、ショートステイの受け入れを行った。令和4年度も地域の福祉に貢献できるよう努める。
- ③ 感染予防のため外出行事は全て中止となり行事予定も状況に合わせて内容変更及び規模の縮小を行った。周囲の感染状況を踏まえ常に安全に行事などを検討する。
- ④ 各部門との連携を行うことにより通所リハビリ→入所となる方の身体状況や環境面などの情報を共有する事により在宅から入所された場合でも円滑なサービスを提供できている。
- ⑤ 感染予防対策が最優先となり入所者の方の生活そのものが満たされていないと感じた為、感染予防、生活サービス共に充実できるよう努める必要がある。今年度は入所者様に満足でき安全な療養生活を提供する。
- ⑥ 施設での面会は全面禁止が継続中であり家族とのコミュニケーションが希薄になりつつあるためオンライン面会の啓発などを行ったが日を迫うごとに件数が減っている。再度啓発を行い、施設内の情報を発信する。

介護老人保健施設 加西シニアコミュニティ  
(短期入所療養介護含む)

月別延べ人数・売上など

月	利用延べ人数	稼働日数	稼働率	1日当りの人数	売上	1日当りの売上	前年度売上	前年売上対比
4月	1,480 人	30 日	98.67 %	49.33 人	20,620,000 円	687,333 円	20,669,842 円	99.76 %
5月	1,529 人	31 日	98.65 %	49.32 人	21,420,000 円	690,968 円	21,185,266 円	101.11 %
6月	1,480 人	30 日	98.67 %	49.33 人	20,571,000 円	685,700 円	20,337,721 円	101.15 %
7月	1,515 人	31 日	97.74 %	48.87 人	21,118,000 円	681,226 円	21,330,886 円	99.00 %
8月	1,507 人	31 日	97.23 %	48.61 人	21,007,000 円	677,645 円	20,722,845 円	101.37 %
9月	1,490 人	30 日	99.33 %	49.67 人	20,891,000 円	696,367 円	21,465,219 円	97.32 %
10月	1,543 人	31 日	99.55 %	49.77 人	21,463,000 円	692,355 円	21,257,451 円	100.97 %
11月	1,455 人	30 日	97.00 %	48.50 人	20,186,000 円	672,867 円	20,926,087 円	96.46 %
12月	1,490 人	31 日	96.13 %	48.06 人	20,736,000 円	668,903 円	20,937,311 円	99.04 %
1月	1,535 人	31 日	99.03 %	49.52 人	21,614,000 円	697,226 円	20,418,644 円	105.85 %
2月	1,380 人	28 日	98.57 %	49.29 人	19,302,000 円	689,357 円	18,881,992 円	102.22 %
3月	1,517 人	31 日	97.87 %	48.94 人	21,218,000 円	684,452 円	21,065,235 円	100.73 %
合計	17,921 人	365 日	98.20 %	49.10 人	250,146,000 円	685,332 円	249,198,499 円	100.38 %

令和3年度・前年度令和2年度月別売上対比



事故報告書

発生日	要因	診断結果	備考
令和3年8月17日	自身の転倒	廊下にて転倒され右大腿部を骨折され入院・手術を受けられる。その後再入所される。	

発生日	要因	診断結果	備考
令和3年11月4日	自身の転倒	自室にて転倒され右大腿部を骨折され人工関節置換術の手術を受けられる。回復期病床を経て再入所予定	

発生日	要因	診断結果	備考
令和3年12月3日	自身の転倒	トイレにて転倒され頭部、臀部を打撲硬膜下血腫、恥骨の骨折され保存的治療後再入所される。	



介護老人保健施設 加西シニアコミュニティ

令和3年度 年間行事

4月	お花見会	屋内にて	誕生日会
5月	母の日行事		誕生日会
6月	お茶会	和菓子バイキング	誕生日会
7月	七夕会		誕生日会
8月	夏祭り		誕生日会
9月	敬老会		誕生日会
10月	運動会		誕生日会
11月	おやつ作り		誕生日会
12月	忘年会	クリスマス会	誕生日会
1月	新年会		誕生日会
2月	節分		誕生日会
3月	ひな祭り		誕生日会

外出行事及び音楽会などは中止とし代替えの行事となる。

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 宝成会

介護老人保健施設 加西シニアコミュニティ  
通所リハビリテーション

## 令和3年度 通所リハビリテーション 事業報告

### 令和3年度事業計画課題について

① 新型コロナウイルス感染症対策に関する業務を優先的に実施する。

感染者が増加し、いつ誰が感染してもおかしくない状況が続いています。  
三密の回避・マスクの着用・手洗い等の基本的な感染対策を徹底し、  
今後も感染防止に努めます。

② 利用者が安心して通所リハビリテーションを利用出来るよう、

職員・利用者の健康確認を行なうとともに、感染の可能性がある場合は  
施設内への立ち入りを禁止する。

職員の体調管理の徹底及び教育、濃厚接触者や接触者に対しては  
陰性確認をしてから利用して頂く事で、通所リハ利用時の感染やクラスター発生を  
防止しています。

③ 医学博士、理学療法士、作業療法士が利用者の個性やニーズを  
尊重し、1人1人に合わせたリハビリテーションを行います。

利用者からのニーズに対して専門職が会議等で意見交換を行ない、  
利用者の希望に沿ったリハビリ計画書を作成し提供しています。

④ 各居宅介護支援事業所、地域包括支援センターと相互協力を図り、

利用者のニーズに対して最適なサービスを提供する事で、  
利用者・家族・事業所の信頼を高め、選ばれる通所リハビリテーションとなる。

コロナウイルス感染症が拡大し、利用者家族や他事業所職員と直接会い  
話す機会が減少しています。電話やメールでのコミュニケーションを大切にして、  
利用者のニーズを把握し個別対応しています。

⑤ 新型コロナウイルス感染症対策として一部のレクリエーションや  
行事を規制しているが、新しいレクリエーション・新しい行事の提供を行い、  
利用者が安心して楽しく過ごせるよう努力する。

『楽しく笑顔で通所リハビリテーションを利用して頂きたい』という思いと、  
『御家族や外部に対しての情報発信』を目的に、おとりよせスイーツという企画を  
一年通じて実施しました。

⑥ 現在の職員離職率年間3%を維持する運営を行い、

利用者に質の高い介護を提供し、満足度を向上させます。

常勤職員2名と非常勤職員1名の退職がありました。  
利用者の安全と質の高い介護を目指して、新規採用した職員を指導・教育しています。

⑦ 最先端技術導入に向けて複素を行い

利用者のリスクマネジメントや新たな介護技術構築を  
目的に導入・検討を行うとともに、  
導入支援の補助金・助成金について情報収集を行う。

ICT活用を促す加算・要件緩和が実施検討されています。  
深刻な介護人材不足もあり、ICT・ロボット・センサーの  
情報収集を継続し、導入について検討する必要があります。

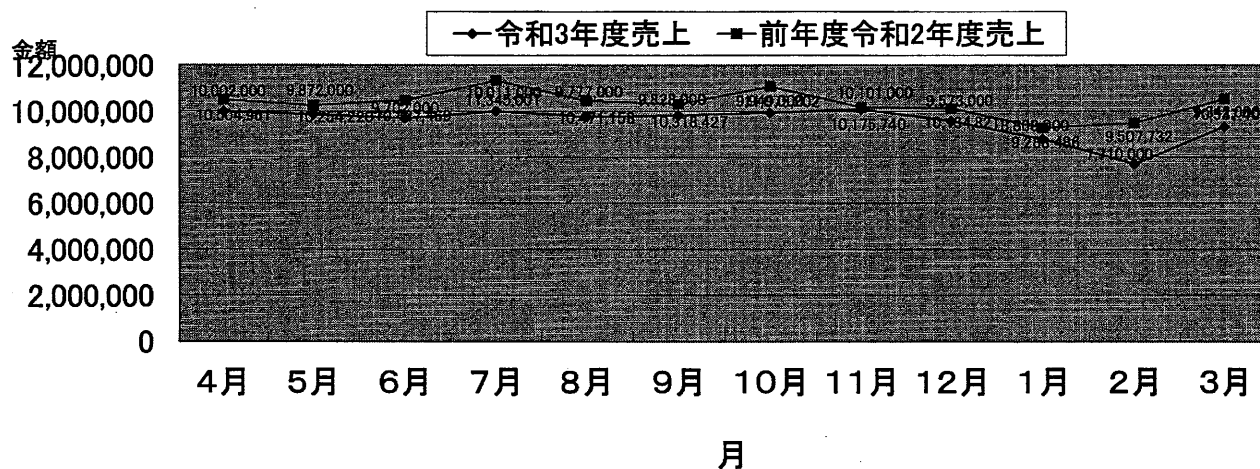
介護老人保健施設 加西シニアコミュニティ  
通所リハビリテーション

月別延べ人数・売上など

月	利用延べ人数	稼働日数	稼働率	1日当りの人数	売上	1日当りの売上	前年度売上	前年売上対比
4月	1,035 人	26 日	104.76 %	39.81 人	10,002,000 円	384,692 円	10,504,961 円	95.21 %
5月	981 人	26 日	99.29 %	37.73 人	9,872,000 円	379,692 円	10,254,220 円	96.27 %
6月	969 人	26 日	98.08 %	37.27 人	9,702,000 円	373,154 円	10,487,469 円	92.51 %
7月	1,002 人	27 日	97.66 %	37.11 人	10,011,000 円	370,778 円	11,345,001 円	88.24 %
8月	965 人	26 日	97.67 %	37.12 人	9,777,000 円	376,038 円	10,471,158 円	93.37 %
9月	988 人	26 日	100.00 %	38.00 人	9,828,000 円	378,000 円	10,318,427 円	95.25 %
10月	991 人	26 日	100.30 %	38.12 人	9,949,000 円	382,654 円	11,075,202 円	89.83 %
11月	992 人	26 日	100.40 %	38.15 人	10,101,000 円	388,500 円	10,175,740 円	99.27 %
12月	925 人	25 日	97.37 %	37.00 人	9,573,000 円	382,920 円	10,134,821 円	94.46 %
1月	851 人	24 日	93.31 %	35.46 人	8,808,000 円	367,000 円	9,283,486 円	94.88 %
2月	751 人	24 日	82.35 %	31.29 人	7,710,000 円	321,250 円	9,507,732 円	81.09 %
3月	910 人	27 日	88.69 %	33.70 人	9,342,000 円	346,000 円	10,537,408 円	88.66 %
合計	11,360 人	309 日	96.75 %	36.76 人	114,675,000 円	371,117 円	124,095,625 円	92.41 %

※稼働日数については、日曜日を含めないものとする。

令和3年度・前年度令和2年度月別売上対比



介護老人保健施設 加西シニアコミュニティ  
通所リハビリテーション

令和3年度 年間行事

4月	お取り寄せスイーツ お花見 喫茶の日 お誕生日会
5月	お取り寄せスイーツ おやつ作り お誕生日会
6月	お取り寄せスイーツ お茶会 喫茶の日 お誕生日会
7月	お取り寄せスイーツ おにぎり実演 喫茶の日 お誕生日会
8月	お取り寄せスイーツ 夏祭り おこのみ焼き実演 喫茶の日 お誕生日会
9月	お取り寄せスイーツ 敬老会 お誕生日会
10月	お取り寄せスイーツ 運動会 パンダ焼実演 喫茶の日 お誕生日会
11月	お取り寄せスイーツ 喫茶の日 お誕生日会
12月	お取り寄せスイーツ クリスマス会 お誕生日会
1月	お取り寄せスイーツ おでん実演 喫茶の日 お誕生日会
2月	お取り寄せスイーツ 喫茶の日 お誕生日会
3月	お取り寄せスイーツ にぎり寿司実演 喫茶の日 お誕生日会

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 宝成会

加西シニアコミュニティ居宅介護支援事業所

## 令和3年度 居宅介護支援事業所 事業報告

### 令和3年度事業計画課題について

#### 基本方針

高齢者の居宅における日常生活の自立を目的とし、利用者や家族のニーズに基づいたサービスが多様な事業所から選択できるように情報提供を行います。特定加算を取り24時間体制 週1回の事業所内研修 事例検討 計画に沿った研修 実習生の受け入れ態勢を整えケアマネの資質向上に努めます。

#### 課題に対する報告

- ① 各病院の地域連携室、地域包括支援センター等と密に連携を図り、新規受け入れに努めましたが職員の増減があり3月末現在で一人当たり30件(支援1/2換算)となりました。
- ② 更新時には重要事項説明書にて「前6か月に作成したケアプランにおける訪問介護 通所介護、地域密着型通所介護、福祉用具貸与の各サービス利用割合」も随時利用者に交付し説明をおこないました。
- ③ 入退院時の連携はコロナ禍の中 面談することが難しくズームや別室を準備して頂き サービスの調整を行い安心して在宅での生活が再開できるように支援させて頂きました。
- ④ 運営基準の順守のもと個人情報の取り扱いや秘密保持に努めました。
- ⑤ 定期的に訪問することで本人はもとよりご家族様とのコミュニケーションを図りながら情報を取得し、評価を行い状態に合わせてサービスの調整を行い自立支援や状態悪化防止に努めました。
- ⑥ コロナ禍の中 研修が中止 延期となりました。その中でも感染に注意し職員が交代で研修に参加しました。研修やケース会議に参加することでケアマネの資質向上を図り利用者の自立支援に努めました。
- ⑦ 支援困難事例については週1回の事業所内会議で事例提供し、皆が共有することで一人で抱え込まずに問題解決に取り組むことができました。。

## 令和3年度 加西シニアコミュニティ居宅介護支援事業所売上報告書

### 月別延べ人数・売上など

月	ケアプラン作成者	居宅介護支援費 請求者	介護予防支援費 請求者	売上
4月	213 人	164 人	49 人	2,856,000 円
5月	213 人	164 人	49 人	2,845,000 円
6月	210 人	164 人	46 人	2,836,000 円
7月	207 人	165 人	42 人	2,840,000 円
8月	203 人	162 人	41 人	2,810,000 円
9月	201 人	160 人	41 人	2,780,000 円
10月	202 人	160 人	42 人	2,770,000 円
11月	200 人	158 人	42 人	2,730,000 円
12月	192 人	151 人	41 人	2,540,000 円
1月	176 人	139 人	37 人	2,350,000 円
2月	164 人	131 人	33 人	2,257,000 円
3月	163 人	130 人	33 人	2,180,000 円
合計	2,344 人	1,848 人	496 人	31,794,000 円

※居宅介護支援費請求者及び売上について、再請求＝当月売上に含める、返戻＝支払日に取消とする。





